設定・アカウント

削除とリセット

nancoには、元に戻せない操作が3つあります。ワークスペースの削除、データのリセット、メンバーの削除です。 どれも押す前に確認画面が出ます。

このページの内容

01 3つの操作の違い
02 データのリセット（アイテムをまとめて消す）
03 メンバーの削除
04 ワークスペースの削除
05 課金はどうなる?
06 実行する前のチェック

最新の内容はWebで確認できます

help.nanco.io/manual/danger-zone

3つの操作の違い

操作	消えるもの	残るもの	場所
データのリセット	アイテム・フォルダ・変更履歴・棚卸し（選べば出荷・入荷、取引先、アイテム情報の設定も）	メンバー・プラン・各種設定	設定 → データ
メンバーの削除	そのメンバーの所属と、個人用のビューなど	アイテム・履歴・ほかのメンバー	設定 → メンバー
ワークスペースの削除	すべて	なし	設定 → 基本情報

管理者だけが実行できます

編集者・閲覧者には、「データ」のメニューも「ワークスペースの削除」の項目も表示されません。 メンバーの削除の「…」メニューも、管理者のときだけ操作できます。 画面を経由せずに実行しようとしても、サーバー側で「管理者権限が必要です」と断られます。

データのリセット（アイテムをまとめて消す）

棚卸しのたびにデータを入れ直す運用や、取り込みをやり直したいときに、アイテムをまとめて消して**まっさらな状態**に戻す機能です。 ワークスペースそのものは残るので、メンバー・プラン・各種設定はそのまま使えます。

消えるもの・残るもの

- **かならず消える**：すべてのアイテムとフォルダ（ゴミ箱・アーカイブの中も含む）、変更履歴、棚卸し
- **選ぶと消える**：出荷・入荷（伝票と明細）、取引先、アイテム情報の設定（賞味期限や仕入値などの項目設定）
- **残る**：メンバー、プラン、そのほかの設定

リセットすると、アイテムの**nancoIDは1から振り直し**になります。 ゴミ箱に入れたものは30日以内なら復元できますが、リセットで消えたものは**ゴミ箱からも復元できません**。
「取引先」にチェックを付けると、「出荷・入荷」にも自動でチェックが入り、外せなくなります。 取引先だけを消すと、伝票がどの取引先のものか分からなくなるためです。 チェックを付けなければ、出荷・入荷の伝票は残ります。 また「アイテム情報の設定」を残しておくと、同じ形式のファイルをそのまま取り込み直せます。

リセットのしかた

1. **「設定」を開く**
2. **「データのリセット」を選ぶ**

   左のメニューにある「データ」の見出しの下の「データのリセット」を押します。
3. **消すものを選ぶ**

   「削除するデータ」で、「出荷・入荷」「取引先」「アイテム情報の設定」のうち、いっしょに消したいものにチェックを付けます。 「アイテムと変更履歴」は最初からチェック済みで、外せません。

4 **「リセット」を押す**

赤い「リセット」ボタンを押すと、確認画面が開きます。

5 **削除されるデータを読む**

確認画面の「本当にリセットしますか?」の下に、「この操作は取り消すことができません。ゴミ箱からも復元できません。」と、**選んだ内容に合わせた削除されるデータの一覧**が出ます。

6 **ワークスペース名を入力する**

「確認のため、ワークスペース名「○○」を入力してください:」と出ます。画面に表示されたワークスペース名を、そのまま入力します。 名前が一致するまで、「リセットを実行する」は押せません。

7 **「リセットを実行する」を押す**

削除が始まり、進み具合が「削除しています… (120 / 3,000)」のように件数で表示されます。 アイテムが多いと数分かかります。実行中は確認画面を閉じられません。

8 **「リセットが完了しました」を確かめる**

完了すると「在庫ページへ」が出ます。押すと在庫ページに戻り、新しいデータを一括登録やAI取り込みで入れ直せます。

> ⚠ **途中で止まったときは**
>
> 通信が途切れるなどして失敗しても、もう一度リセットを実行すれば続きから消えます。 アイテムの合算を実行している最中は、リセットできません。合算が終わってからやり直してください。

メンバーの削除

退職した人や、使わなくなったアカウントをワークスペースから外します。 外されたメンバーは、そのワークスペースにログインしても在庫を見られなくなります。**アカウントそのものが消えるわけではなく**、その人が別のワークスペースに入っていれば、そちらはそのまま使えます。

削除したあとの状態

- アイテム・在庫・変更履歴は**消えません**。ただし、出荷・入荷などに残っていたそのメンバーの担当者の記録は、名前が空になります
- そのメンバーが作った**個人用のビュー・ラベルのテンプレート・お気に入りは消えます**
- そのメンバーがAIアシスタントなどとつないでいた接続（MCP連携）は使えなくなります
- ワークスペースで発行した**APIキーは残ります**。退職した人が発行したキーを止めたいときは、設定のAPIキーの画面で管理者が止めます
- 料金は契約プランで決まり、メンバーの人数では変わりません。メンバーを削除しても請求は変わりません

削除のしかた

1. **「設定」→「メンバー」を開く**

   サイドメニューの「設定」を開き、左のメニューで「メンバー」を選びます。

2. **メンバー一覧で対象の行を探す**

   画面を下にスクロールして、メンバー一覧から外したい人の行を見つけます。

3. **行の右端の「…」を押す**

   メニューが開きます。

4. **「削除する」を選ぶ**

   確認画面が開きます。

5. **確認画面で「削除」を押す**

   「本当に削除しますか?」の下に「このメンバー（または招待）をワークスペースから削除します。この操作は取り消せません。」と出ます。 よければ「削除」を押します。やめるときは「キャンセル」です。

参加前の**招待中の人**も、同じ「…」メニューから削除できます。招待が取り消されます。 削除したあとに同じ人を戻したいときは、もう一度招待します。 空になった担当者の記録は、戻しても復活しません。

> **サポートアカウントは削除できません**
>
> 「サポートアカウント」はnancoのサポートチームが使うアカウントで、メンバー一覧には表示されません。 削除しようとしても「サポートアカウントは削除できません。」と断られます。

ワークスペースの削除

ワークスペースを削除すると、**アイテム・メンバー・履歴・設定など、ワークスペースのすべてのデータが完全に消えます**。 データのリセットと違って、ワークスペースそのものがなくなり、**元に戻す方法はありません**。 削除したあとは自動でログアウトされ、ログインページに戻ります。
入っているワークスペースが1つだけの人には、この操作が**「退会する」**と表示されます。 退会すると、ワークスペースといっしょに**あなたのログイン情報（名前・写真を含む）も消えます**。 いくつものワークスペースに入っている人には「ワークスペースを削除する」と表示され、ログイン情報とほかのワークスペースは残ります。
データだけをまっさらにしたいなら、削除ではなくデータのリセットを使います。 ほかのメンバーに引き継ぐ場合は、削除せずにメンバーの役割を変えます。

削除のしかた

1. **「設定」→「基本情報」を開く**

   サイドメニューの「設定」を開き、左のメニューで「基本情報」を選びます。

2. **画面の一番下の「退会」または「ワークスペースの削除」を探す**

画面を下までスクロールすると、赤い枠が表示されています。「元に戻せません」と書かれた枠です。

3 **「退会する」または「ワークスペースを削除する」を押す**

確認画面が開きます。

4 **消えるものを読む**

確認画面に「このワークスペースのデータは、メンバー全員の分が消えます。元に戻せません。」と、消えるもの（アイテムと在庫の履歴、入荷・出荷の伝票と帳票、メンバーと招待）が並びます。 退会のときは「あなたのログイン情報（名前・写真を含む）」も並びます。

5 **ワークスペース名を入力する**

「確認のため、ワークスペース名「〇〇」を入力してください:」と出ます。表示された名前をそのまま入力します。 一致するまで確認画面のボタンは押せません。

6 **「退会する」または「削除する」を押す**

「削除しています。データが多いと数分かかります。」と表示されます。削除中は確認画面を閉じられません。 終わるとログインページに移ります。

アカウントだけを削除する

ワークスペースを残したまま、自分のログイン情報だけを消すこともできます。「設定」→「アカウント」の一番下にある「アカウントを削除する」から行います。 ログイン情報と、あなたの名前・写真が消え、入っているワークスペースからも外れます。ワークスペースのデータは残ります。
自分が最後のメンバーのワークスペースがあるときは、先にそのワークスペースを削除（退会）します。

課金はどうなる?

支払い方法によって、ワークスペースを削除したあとの請求が変わります。**先に支払い方法を確かめてから**削除してください。

支払い方法	ワークスペースを削除したとき
クレジットカード（Stripe）	削除と同時に契約も止まり、次回以降の請求は発生しません
App Store・Google Play	**ストアで解約するまで削除できません**。解約の手続きが済むと削除できます（解約しても、期限までは使えます）
統合課金のグループに所属	削除できません。先にグループから外してもらう必要があります

App Store・Google Playで契約しているとき

ストアの契約はnancoからは解約できないため、解約の予約が入るまでは削除（退会）できません。画面に契約中のストアに合わせた手順が出ます。

- App Store：iPhoneの設定 > サブスクリプションからnancoを解約
- Google Play：Google Play > お支払いと定期購入 > 定期購入からnancoを解約

解約を予約した後にストア側で自動更新を再開していると、削除後も請求が続きます。ストアの設定で確かめてください。

データのリセットとメンバーの削除は、課金に影響しません。プランも契約もそのままで、請求は続きます。リセットしても、料金が下がったり契約が止まったりはしません。

実行する前のチェック

- 残しておきたい情報は、先に控えておく（リセット後は、CSVのインポートやAIのインポートで入れ直せます）
- ワークスペース名を、そのまま入力できるように控えておく（大文字・小文字や記号も同じに入力します）
- App Store・Google Playで契約しているときは、先にストアで解約しておく
- ほかのメンバーが作業中でないか、声をかけておく（リセットは全員のデータが対象です）